











## FoS ファスナー S-BT 施工要領

### 1. 施工機材

	S-BT-MR M8/7 SN 6 S-BT-MF M8/7 AN 6 S-BT-GR M8/7 SN 6 S-BT-GF M8/7 AN 6	S-BT-MR M8/15 SN 6 S-BT-MF M8/15 AN 6	S-BT-MR M10/15 SN 6 S-BT-MF M10/15 AN 6
下穴穿孔	SF BT 22-A または SBT 4-A22 		
	TS-BT 5.5-74 S 		
留付、締付	SFC 22-A または SBT 4-A22 		
	S-DG BT M8/7 Short 6 	S-DG BT M8/15 Long 6 	S-DG BT M10-W10/15 Long 
	S-NS 13 C 95/3 3/4" 		S-NS 15 C 95/3 3/4" 
	X-BT 1/4" 8 Nm (SFC 22-A または SBT 4-A22 を使用しない場合) 		
	S-CC BT 6 		

### 2. 母材、取り付け物条件

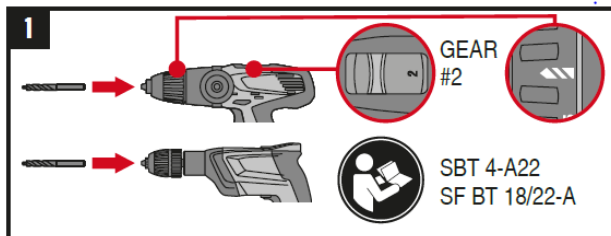
母材		取り付け物	
母材厚さ	3 mm 以上 (6 mm 未満では下穴貫通)	取り付け物厚さ	S-BT-_/7_: 1.6 mm~7 mm
耐蝕コーティング厚さ	0.8 mm 以下		S-BT-_/15_: 1.6 mm~15 mm
		取り付け物穴径	S-BT-_R: 13 mm 以上
母材強度	340 MPa~630 MPa		S-BT-_F: 11 mm 以上

## 3. 施工要領

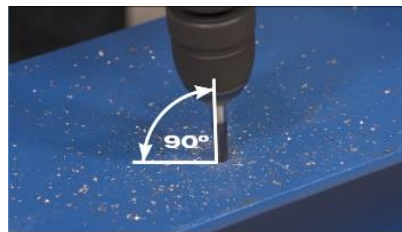
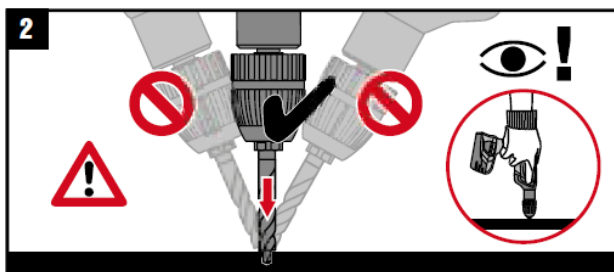
### 3.1. 下穴穿孔

**1.** 下穴穿孔工具(SF BT 22-A または SBT 4-A22)にステップビット TS-BT 5.5-74 S を装着  
SBT 4-A22 の場合は、本体のトルク、速度を下記に設定

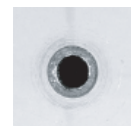
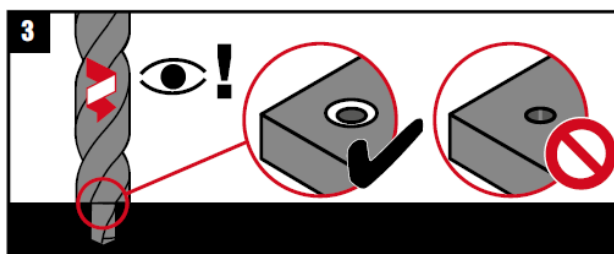
- 本体のトルク: クラッチなし(ドリルのマーク)
- 本体の速度: ギア#2



**2.** ステップビットを母材に垂直に押し当て、下穴を穿孔



**3.** 母材の耐蝕コーティングが削られて銀色のリングが表れていることを確認



銀色のリング

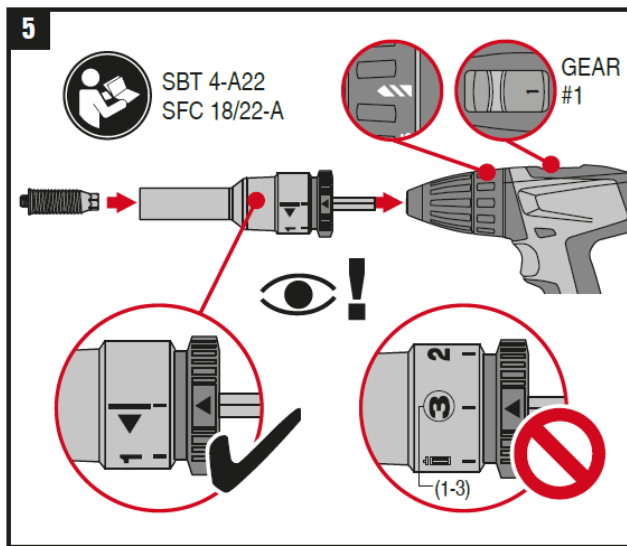
**4.** 切粉を除去し、水滴が侵入していないことを確認



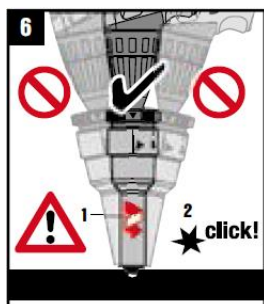
### 3.2. スタッドの留め付け

**5.** デプスゲージ(S-DG BT)を留付工具(SFC 22-A または SBT 4-A22)にセットし、本体のトルク、速度とデプスゲージの深さ調整を下記に設定

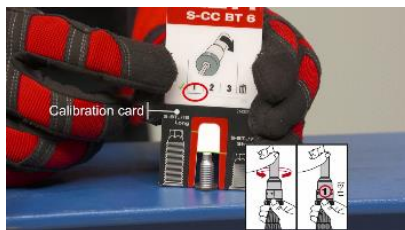
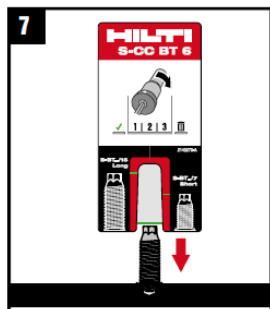
- 本体のトルク: クラッチなし(ドリルのマーク)
- 本体の速度: ギア#1
- デプスゲージの深さ: 初期位置(数字のない▲印)



**6.** スタッドをデプスゲージに装着し、下穴に向かって垂直に施工

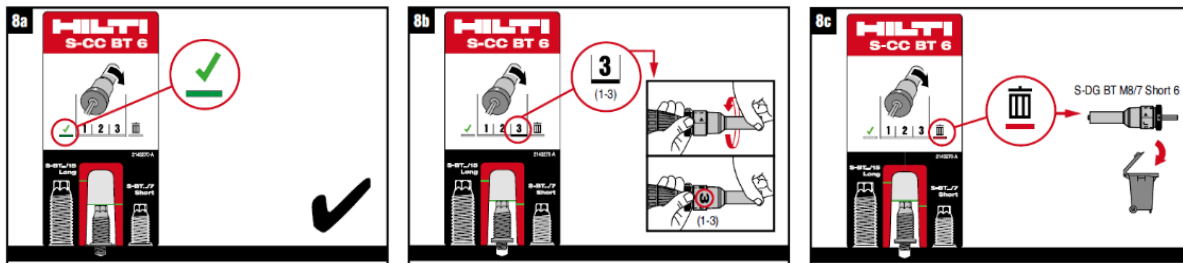


**7.** キャリブレーションカード(S-CC BT)を用いてスタッドの立ち上がり高さを確認



**8.** キャリブレーションカードのインジケータに従い、デプスゲージの深さを調整

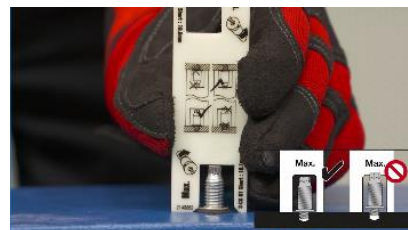
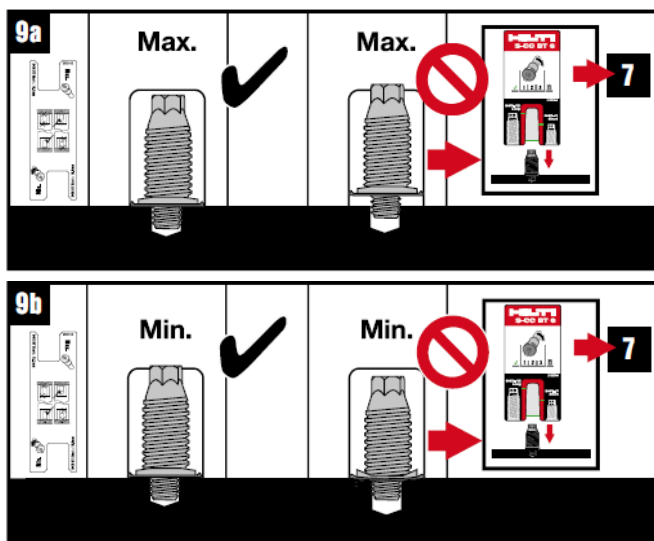
- a. 緑のチェックマーク: 現在の設定が適正
- b. 1~3 の数字: デプスゲージの深さ調整目盛りをインジケータが示す値に合わせて増し締めし、スタッドの高さを再確認
- c. ゴミ箱: デプスゲージの寿命なので、デプスゲージを廃棄(使用不可の印として、デプスゲージの深さ調整目盛りをゴミ箱の印に合わせて)し新しいものに交換



※ 連続した施工をする場合、2 回目からはここで得られたデプスゲージ設定を使用することで、このステップを省略することができます。ただし、下記に該当する場合は再度デプスゲージの深さ調整を実施してください。

- 施工開始時
- 施工する向きが変わったとき
- 施工者が交代したとき

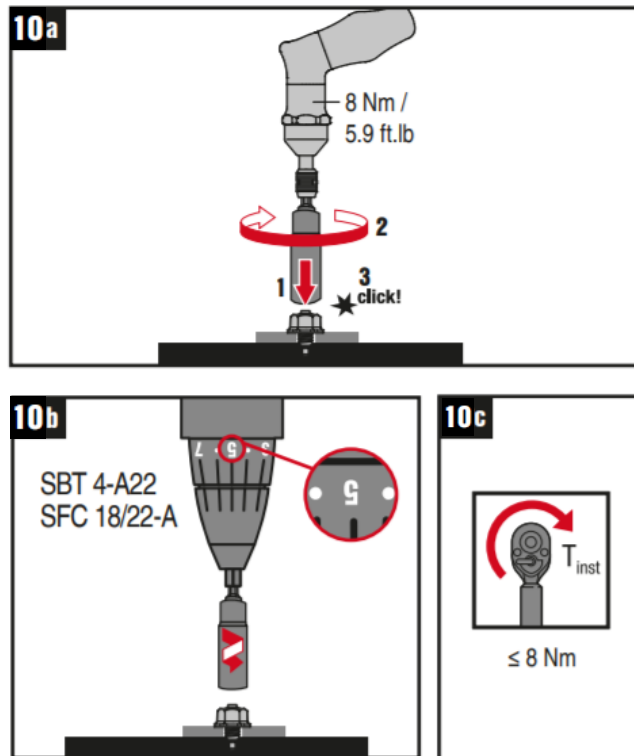
**9.** チェックゲージを用いてスタッドの立ち上がりが最大値と最小値の間にあることを確認



### 3.3. 取り付け物の装着

#### 10. スタッドに取り付け物を通し、既定のトルクでナットを締め付け

- a. 手締め用トルクツール(X-BT 1/4")とナットソケット(S-NS)を使用
- b. 締付工具(SFC 22-A または SBT 4-A22)とナットソケット(S-NS)を使用: 本体のトルク設定 5
- c. トルクレンチとナットソケット(S-NS)を使用: トルク設定 8 Nm 以下



### 4. 注意事項

- S-BT を施工の際は、必ず当社指定の専用工具・アクセサリ類をご使用ください。
- 1 度使用した S-BT スタッドの再利用はしないでください。
- 穿孔スピードの落ちたステップビットの継続使用はおやめください。
- スタッドの適正な立ち上がり高さでの施工ができなくなったデプスゲージの使用はおやめください。
- S-BT の製品に関する詳細は、別途ご案内の製品情報をご参照ください。